



**NNA (MALAYSIA) SDN. BHD.** Address : D-3-5, Megan Avenue 1, No189 Jalan Tun Razak 50400 KL  
 Tel : 03-2163-6226 Fax : 03-2163-9993 E-mail : sales\_my@nna.asia

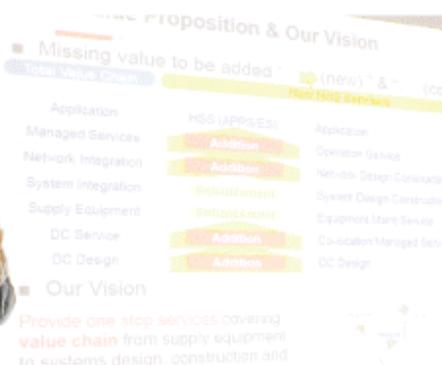
KDN PP 11802/03/2013 (031453) MCI(P)048/04/2014 転載契約 : Star Publications/Bernama

# 14年3月期の売上高5割増 日立サンウエー、今期は25%増目指す

日立システムズとサンウエー・テクノロジーの合併会社、ヒタチ・サンウエー・インフォメーション・システムズ(日立サンウエー)のチア・コックフン・グループ最高経営責任者(CEO)は19日、同社の2014年3月期の売上高が9,100万リンギ(約28億7,000万円)となり、前期比で52%増加したことを明らかにした。同社はこのほどベトナム・ハノイに、東南アジア諸国連合(ASEAN)6カ国目となる新拠点を開設。今期(15年3月期)は売上高25%増を目指す考えだ。



事業計画について説明するチアCEO=19日、クアラルンプール (NNA撮影)



14年3月期の売上高を部門別に見ると、ソフトウェアの販売を担うアプリケーション部門が1,700万リンギ(全体の19%)、製造業向けのIT(情報技術)ソリューションを提案するエンジニアリング部門が3,000万リンギ(同33%)、ITインフラの整備などを行うインフラストラクチャー&マネージドサービス部門が4,400万リンギ(同48%)となった。

同社は今期(15年3月期)の予算で、売上高を前期比25%増の1億1,400万リンギに設定している。部門別では、アプリケーション部門が2,900万リンギ(同26%)、エンジニアリング部門が3,900万リンギ(同34%)、インフラストラクチャー&マネージドサービス部門が4,600万リンギ(同40%)。新たに扱うブランドの

(次ページへ続く)

## NEWS HEADLINES

- 【IT】14年3月期の売上高5割増
- 【金融】RM=31.5円、\$=3.21RM(19日)
- 【車両】マセラティ車販売のナザ、今年は販売倍増目指す
- 【車両】ナザ・バイクス、250ccのN5新モデル発売
- 【建設】外国人への土地転売は禁止、ジョホール州首相
- 【運輸】MAS労組、経営体制の刷新を要求
- 【食品】菓子のパーフェクトフード、海外展開拡大へ
- 【農水】パーム油輸出関税、6月は5.5%に据え置き
- 【経済】UAEとモスク共同建設へ、スングアイベシに
- 【経済】破産者増加、1~3月は32%増の6,480件
- 【経済】甘利氏、米通商代表と協議、TPP閣僚会合開始
- 【観光】サマラジュ初のリゾート、チャヤマタが建設
- 【政治】下院ペラ州補選、DAPは27歳新人女性が出馬

## アジア情報

- 【運輸】入国者の指紋採取、星で17年から試験導入
- 【繊維】仏ファッション「サンドロ」、1号店を出店
- 【車両】タイ日産の4月販売5千台、ティアナ月別最高
- 【商業】ファミリーマート、タイでの出店加速へ
- 【観光】タイ・韓観光停滞、政局混乱・船舶事故受け

- 1 【農水】星オラム、インドネシアでカカオ加工工場建設へ
- 2 【金融】投信オンライン取引、半年内に規定順守義務
- 2 【食品】比ペプシ、1~3月は価格競争で5割減益に
- 3 【商業】比セブンイレブンが2桁減益、セブでは出店加速
- 3 【食品】ニチレイスーゴ、越南部のアセロラ加工工場完成
- 3 【金融】越のカード発行枚数、3月末時点で6.9万枚
- 3 【車両】独VW、インドでの現地化加速に1億ユーロ投資
- 4 【IT】聯発科、半導体売上高増加率で世界トップ

## 特集

- 4 【アジアで会う】ジョージ・チェンさん シンガポールコンテック社長 11
- 5 【アジア通販】アジアで国際輸送網、ヤマトが支える越境EC 12

## マーケット情報、その他

- 6 商品市況 13
- 6 クロスレート 13
- 6 マーケット情報 為替と株式 14
- 6 各地のコラム 15

幅を広げることなどで、アプリケーション部門の割合が拡大すると見込んでいる。

来期(16 年 3 月期)にはさらに、前期比 20%増の 1 億 3,700 万リンギの売上高を目指す。部門別の割合では、アプリケーション部門で 26%、エンジニアリング部門で 34%、インフラストラクチャー & マネージドサービス部門で 40%を見込む。

### ミャンマー進出も検討

チア CEO は、今後の新たな進出計画について、取引先などからの要望があればミャンマー拠点の開設も検討する考えを明らかにした。日立サンウエーの家近啓吾・最高戦略責任者(CSO)兼取締役も、ミャンマーへは既に日立グループの企業が進出していることから、まずは下請けなどの形で事業を受注する可能性もある

とコメントした。

同社は先月 28 日にベトナムのハノイに新拠点を開設したばかり。チア CEO は、拠点を持つシンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア、ベトナム、フィリピンの ASEAN 6 カ国の IT 市場が 15 年に 66 億円規模、うち IT サービスが 12 億円規模に達するとの予測があることを指摘。域内のネットワークを強化し、ASEAN 市場全体を取り込んでいきたい考えとした。同社は、拠点は無いものの、先にカンボジアでもイオンのショッピングセンター(SC)向け事業を受注した実績がある。

日立サンウエーは 12 年 4 月に発足した。出資比率は日立システムズが 51%、サンウエーが 49%。マレーシア国内ではスランゴール州、ペナン州、ジョホール州に拠点を構える。

## RM = 31.5 円、\$ = 3.21 RM (19 日)

### 為替 (5 月 19 日午後 5 時時点)

1 リンギ = 31.5422 円、100 円 = 3.1704 リンギ  
 1 米ドル = 3.2130 リンギ、1 ユーロ = 4.4044 リンギ  
 (マレーシア中央銀行)

### 株価 (5 月 19 日終値)

クアラルンプール総合指数(KLCI)  
 = 1887.07 (前営業日比プラス 3.73 ポイント)  
 (マレーシア証券取引所)

## 【マレーシア - 車両】

### マセラティ車販売のナザ、今年販売倍増目指す

イタリアの高級スポーツカー「マセラティ」の国内総代理店であるナザ・イタリアは、今年のマセラティ販売台数を昨年(13 年)の 2 倍に引き上げることを目指している。ゼネラル・マネージャー(GM)であるワン・アフマド氏が 16 日、新モデル発表の記者会見で明らかにした。国営ベルナマ通信などが伝えた。

昨年(13 年)のマセラティ販売台数は約 40 台。ワン・アフマド GM による

と、今年(14 年)の販売は好調で、1~3 月(第 1 四半期)は前年同期から 80% 増加したことから、通年の目標を 92 台に設定した。同日発表した新モデル「マセラティ・ギブリ」の投入や、ペナン、ジョホールバルでの販売店開設によって、目標を達成できるとしている。

マレーシアでは来年 4 月に物品・サービス税(GST、消費税に相当)が導入されることになっている。こ

れに関して同 GM は、「当社は準備しており、販売価格が大きく変わることはない」と述べ、大きな影響はないとの見解を示した。

マセラティ・ギブリは 4 ドアのセダン車。新発売したのは「ギブリ」「ギブリ S」の 2 モデルで、最低価格はそれぞれ 53 万 8,000 リンギ(約 1,696 万円) 62 万 8,800 リンギとなっている。

## PHOTO NEWS



ボトラジャヤで航空機競技の世界大会が開かれた = マレーシア (スター)

## TAKE OFF

日本に比べると喫煙マナーが良いとは言えない当地。通勤時の混みあつた歩道で歩きタバコをする人は少なくないし、ポイ捨てもよく目にする。ただ政府も手をこまねいていない。保健省はこのほど、公共交通機関での喫煙の取り締まりを強化するキャンペーンを開始した。警察や陸路公共交通委員会(SPAD)が共同で展開。喫煙者だけでなく、車内に喫煙禁止の注意を掲示していない運業者も、関連法規に沿って処分する方針という。

しかし考えてみると、キャンペーンを展開するということは、違反者がそれだけ多いということなのか。列車や空港ではさすがに喫煙者を見かけることはないが、路線バスやタクシーではルールが守られていないのかもしれない。もっとも一部のバスやタクシーには、喫煙とともに交通ルールも順守してほしいと思う。(林)

## 【マレーシア - 車両】

**ナザ・バイクス、250ccのN5新モデル発売**

ナザ・グループ傘下のナザ・バイクスは19日、エンジン排気量が250ccの「N5」の新モデルを発売した。同社は、今年通年でN5を2,500~3,000台販売する計画だ。国营ベルナマ通信が伝えた。

ナザ・グループのダニアル・マハ

ムード副会長(二輪部門)によると、同モデルはスポーティなデザインが特徴で、150ccクラスから250ccクラスにグレードアップしたいユーザーの需要を取り込む狙い。同社は、先着500人に対し、1万3,900リンギ(約43万8,000円)で新モデ

ルを販売する考えだ。

同社は昨年、250ccクラスの二輪車を1,600台販売した。ナザ・グループのSMファイサルSMナシムディン会長は、将来的に250ccクラスを中心にエンジン生産などを強化していきたい考えも示した。

## 【マレーシア - 建設】

**外国人への土地転売は禁止、ジョホール州首相**

ジョホール州のモハメド・カレド・ノルディン州首相は18日、同州政府はマレーシア人が外国人への土地を転売することを承認しない方針を明らかにした。土地価格の上昇により、外国人に土地転売を申請するケースが増えていることが背景にあ

るといふ。19日付スターが伝えた。

カレド州首相によると、最近では農業用地を売却しようとしたケースが最低でも3件あった。国营石油会社ペトロナスによる、州南部プングラン地区での製油所・石油化学総合開発(RAPID)プロジェクトな

どの開発案件が進められており、多くの外国人が土地を購入する意向があるとみられるという。

カレド州首相は、購入意向のある外国人は州政府を通じて賃借契約の締結に向けたコンサルタントを受け

## 【マレーシア - 運輸】

**MAS労組、経営体制の刷新を要求**

ナジブ首相が赤字続きのマレーシア航空(MAS)再建が困難との認識を示したことを受け、マレーシア航空従業員組合(MASEU)は、独自の経営陣名簿を用意していると述べ、経営陣を一新するよう訴えた。19日付マレーシアン・リザーブ、17日付ビジネス・タイムズが報じた。

ジャバルア・アブドル・カディル書記長は、新しい経営陣として推薦

できる人材の名簿を用意していると説明。MAS再建策については、「破産だけが選択肢ではない。利益を上げられる事業はいくらでもある」と述べ、黒字化できない現在の経営陣を批判した。また従業員の解雇につながるような再建計画には断固反対する姿勢を見せた。

MASEUは過去にも、MASと格安航空会社(LCC)エアアジア

が株式交換方式で資本提携に合意した際も、「従業員の職を奪う」と猛反対したことがある。

ナジブ首相は先ごろ、米経済紙ウォール・ストリート・ジャーナルのインタビューに対し、「MASの再建は手遅れかもしれない」と破産を示唆する発言をしたという。

## 【マレーシア - 食品】

**菓子のパーフェクトフード、海外展開拡大へ**

「ジュリーズ」ブランドのビスケットで知られる地場菓子メーカーのパーフェクト・フードマニュファクチャリングは、販売増加に向けて海外の販路を拡大する計画だ。2019年までに100カ国・地域への進出を目指す。19日付ビジネス・タイムズが伝えた。

ビスケット、クラッカー、ウエハースなど200以上の製品を手掛ける同社は現在、約60カ国・地域に進出している。中国、シンガポール、台湾が主要市場だ。

ゼネラル・マネジャー(GM)のマーティン・アン氏が同紙とのインタビューで明らかにしたところによ

ると、輸出が売上高に占める比率は約40%。今年は同比率を5%増やすことを目指す。

同社の昨年の売上高は2億5,000万リンギ(約79億円)だった。今年は2桁の増収を見込んでいる。

## 【マレーシア - 農水】

## パーム油輸出関税、6 月は 5.5% に据え置き



マレー半島北部にあるパームヤシ農園 (NNA 撮影)

マレーシア・パーム油委員会 (MPOB) によると、政府は 6 月のパ

ーム原油 (CPO) 輸出関税の税率を 5.5% に据え置くことを決めた。

マレーシア税関が CPO 平均価格に伴って税率を調整しており、6 月の平均価格については、1 トン当たり 2,595.71 リンギ (約 8 万 1,800 円) と予測した。先月に引き続き 2,551 ~ 2,700 リンギのレンジ内であることから、5.5% の税率を適用する。

17 日付南洋商報によると、CPO

価格は先ごろ 2012 年に記録した 2,598.76 リンギの水準を突破、これを受けて政府は 4 月から輸出関税率を 5.5% に引き上げていた。アナリストからは、ラマダン (断食月) とそれに続くハリラヤ・ブアサ (断食明け大祭) に向けて CPO 輸出業者が売り惜しみすることから、価格はさらに上昇に向かうとの予測が出ている。

## 【マレーシア - 経済】

## UAE とモスク共同建設へ、スンガイベシに

アラブ首長国連邦 (UAE) を訪問したナジブ首相は 18 日、マレーシアと UAE によるモスク共同建設、観光、高等教育での協力などに関する合意文書の締結に立ち会った。国営ベルナマ通信が伝えた。

両国はまず、クアラルンプール郊外のスンガイベシ地区で進められている総合開発「バンダル・マレーシ

ア」の一環として、強固な二国間関係の象徴となるモスクを共同で建設することに正式合意した。

また、開発主体の政府系投資会社、ワン・マレーシア・デベロップメント (1MDB) と UAE の宗教行政当局は、モスク周辺での子ども向け教育施設などの設置でも合意した。

一方、両国は観光分野での研究活

動、観光関連プログラムの開発、研修など新たな協力事業を進めるための覚書も結んだ。

このほか、マレーシア教育省が UAE の高等教育科学研究省と高等教育分野での協力で提携することなども合意した。

## 【マレーシア - 経済】

## 破産者増加、1 ~ 3 月は 32% 増の 6,480 件

破産局によると、今年 1 ~ 3 月 (第 1 四半期) の破産件数が約 6,480 件となり、前年同期比で 32% 増加していることが明らかになった。19 日付エッジ・ファイナンシャル・デーリーが報じた。

1 日平均 72 件の破産申請が出された計算になる。昨年の第 1 四半期は 7.6% 増の 4,910 件だった。内訳を見ると、個品割賦の不払いによる破産件数が 48% 増の 1,906 件で最多となった。特に自動車ローンの融

資が昨年 10 月以来膨張していることとも関係があるという。今年 2 月には融資総額が 2009 年以来的水準となる 20 億リンギ (約 630 億円) に達している。このほか、住宅ローン不履行による破産件数も 16% 増の 1,176 件だった。

13 年通年の破産件数も前年から 12.3% 増加した。11、12 年ではそれぞれ前年比 5.8% 増、2.1% 増だった。事実上の法務閣僚を務めるナンシー・シュクリ首相府相は、「08 年

に 17.5% 増を記録したが、これは景気の悪化に伴って増加したものと語り、景気が順調な年としては異常であるとの認識を示した。

シュクリ氏は「インフレが 13 ~ 14 年の破産件数を引き上げた要因として考えられる」と説明した。さらに消費者の高い購買意欲と各種ローンへ容易に手が出せる環境も要因と指摘した。



トライアル  
受付中!

**The Daily NNA**

6月2日創刊

**労務・人事・安全ニュース**



## 甘利氏、米通商代表と協議、TPP閣僚会合開始

【シンガポール共同＝栗原和太】環太平洋連携協定(TPP)交渉の閣僚会合が19日、シンガポールで始まった。20日までの2日間、国有企業改革や知的財産保護をはじめとする難航分野を中心に議論する。甘利明担当相は会合に先立ち、閣僚会合の進め方をめぐってフロマン米通商代表と個別に協議した。閣僚会合では日米協議の現状を説明したもようだ。

日米やオーストラリアなど参加12カ国は、難航分野で妥協点を見だし、次回の閣僚会合での大筋合

意にめどを付けたい考えた。ただ、難航分野では日米など先進国とマレーシアやベトナムなど新興国の対立が解けていない。今回の閣僚会合でどこまで協議が進むかは見通せない。

甘利氏は19日朝、記者団に「残された論点の交渉が前進するよう積極的に議論に貢献したい。日米の進展が大きな推進力となって、交渉全体が早期妥結に向かって前進することを期待している」と語った。

甘利、フロマン両氏の協議は日米首脳会談に合わせて行われた4月

24日以来、2国間の懸案であるコメや麦、牛・豚肉など5項目の重要な農産物と自動車の関税の扱いは、閣僚会合に並行して行う事務レベル協議で主に話し合う予定だ。日米両政府は19日午後にも事務レベル協議を再開する方向で調整している。

TPP交渉を主導する日米が関税協議で歩み寄れば、12カ国による早期の大筋合意に弾みがつく可能性もある。

### 【マレーシア - 観光】

## サマラジュ初のリゾート、チャヤマタが建設

サラワク州を拠点とするコングロマリット(複合企業)のチャヤマタ・サラワク(CMSB)は、同州ピントゥルのサマラジュ工業団地周辺で初となるリゾートホテル「タンジュン・サマラジュ・リゾート・ホテル」を建設する。投資額は6,600万リンギ(約20億8,000万円)で、今年10月初めにも完成予定だ。19日付スタ

ーが伝えた。

同ホテルは4つ星クラスで、サマラジュ半島の断崖沿いに位置しており、南シナ海やサマラジュ国立公園の美しい景観が楽しめるという。敷地面積は10.6ヘクタールで、客室数は150室。

周辺にはサマラジュ工業団地があり、ビジネス客による需要を見込む。

ビジネス客は現在、工業団地周辺に適切な宿泊施設がないため、約60キロメートル離れたピントゥル市内に宿泊している。

チャヤマタはまた、サマラジュ中心部に商業施設や中小企業向けの工場用地を提供する「サマラジュ・センター・プロジェクト」にも近く着手する。敷地面積は35ヘクタール。

### 【マレーシア - 政治】

## 下院ペラ州補選、DAPは27歳新人女性が出馬

選挙委員会(EC)は19日、議員死去に伴う連邦下院ペラ州テロクインタン選挙区での補選について立候補者を受け付け、野党・民主行動党(DAP)の27歳新人女性、ダイアン・ソフィア氏と、与党連合・国民戦線(BN)に所属するマレーシア人民運動党(グラカン)のマー・

シュウキョン総裁の2人から立候補届け出があったと明らかにした。国営ベルナマ通信が伝えた。

18日付南洋商報などによると、ダイアン氏はDAP顧問であるリム・キットシアン氏の政治秘書。選挙は今回が初出馬となる。一方のマー氏は53歳で、1999、2004年の選挙で

はテロクインタン選挙区で当選したものの、08、13年選挙では同選挙区から出馬し落選している。

同選挙区は、今月1日にDAPに所属するシア・レオンペン氏がぼうこう癌で死去し、空席となっている。



### 日系企業現地社員給与動向アンケート調査へのご協力お願い



NNAでは海外における日系企業の経営環境を把握し、経営判断に欠かせないデータとしてご活用いただくことを目的に、海外に進出している日系企業の現地社員及び現地採用社員の給与や昇給に関する動向を調査し、まとめる予定です。より実態に肉薄したデータを収集するため、ぜひ調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

<実施期間>2014年5月23日(金)まで

★ご回答者様には、調査結果をウェブ、冊子でお届けします。

[https://news.nna.jp/app/salary\\_trend/question/2014/asia\\_result](https://news.nna.jp/app/salary_trend/question/2014/asia_result)  
(アンケートの回答は こちら。)

## アジア情報

### 【シンガポール - 運輸】

## 入国者の指紋採取、星で 17 年から試験導入

移民局 (ICA) がシンガポールに入国する外国人の指紋採取を開始する計画であることが分かった。入国審査の迅速化と保安強化が目的で、2017 年から試験導入するという。19 日付ストレーツ・タイムズが報じた。

計画では、建設中のチャンギ国際空港の第 4 ターミナル (T4) に、指紋をスキャンするセルフサービスカウンターを設置。指紋のほか、顔写真撮影または目の虹彩スキャンも行う。試験導入に向け、すでに先週

から納入業者の選定に入ったという。ICA は、T4 以外のターミナルや北部セレーター空港、北部ウッドランズなどマレーシアとの国境検問所でも指紋採取を実施するかどうかは明らかにしていない。

### 【シンガポール - 繊維】

## 仏ファッション「サンドロ」、1 号店を出店

仏ファッションブランドのサンドロがシンガポールに 1 号店を出店した。19 日付ストレーツ・タイムズが伝えた。

繁華街オーチャードの大型商業施設 ION (アイオン) の 3 階に初の独立店舗をオープンした。東南アジ

アで独立店舗を開設するのは初めて。サンドロはパリ発祥のファッションブランドでレディース、メンズの両方をそろえ、上質な素材や凝ったデザインで欧州を中心に人気を集めている。価格帯は 100 ~ 400 ドル (約 8,000 ~ 3 万 2,000 円) 程度。

サンドロは世界で 202 店舗を展開。アジア地域では、日本、中国、韓国などに進出している。日本では高島屋の新宿店、横浜店、大阪店、京都店で販売している。

### 【タイ - 車両】

## タイ日産の 4 月販売 5 千台、ティアナ月別最高

日産自動車は 19 日、アジア・オセアニア地域 (日本、中国、インド除く) の 4 月の販売台数が前年同月比 2.9% 減の 1 万 8,470 台だったと発表した。タイは 4,660 台で、25.2% を占めた。

タイのモデル別販売では、昨年 10

月に新モデルを発表した高級セダン「ティアナ」が 1,130 台と、発売後の月別最高を記録した。前月比では 146% 増加した。全体では、12 年末のファーストカー減税策終了後、市場全体が落ち込む中、3 月下旬 ~ 4 月上旬に開かれた「バンコク国際モ

ーターショー」でのキャンペーンが奏功し、前年同月比で 5.8% 増となった。

マレーシアでは、4 月末に発売したセダン「シルフィ」の受注台数が 200 台に上り、好調なスタートを切った。

### 【タイ - 商業】

## ファミリーマート、タイでの出店加速へ

コンビニエンスストア大手ファミリーマートのタイ合弁会社、サイアム・ファミリーマート (SFM) は、店舗全体に占めるフランチャイズ (FC) 店比率を年内に 10% から 20% に高め、出店ペースを上げる。同業の CP オール (CPALL) も将来的に FC の割合を 44% から 60% に引き上げる考えを示しており、フランチャイジーの争奪戦が起きそうだ。

ブラチャーチャート・トゥラキットの最新号によると、SFM のマーケティング部門のジュラット副最高経営責任者 (CEO) は今後 5 年で段階的に FC 店の比率を 5 割まで引き上げる目標を明らかにした。フランチャイジーの応募要件は従来から緩和し、(1) 店舗用地を持ち、約 250 万バーツ (約 780 万円) の投資が可能 (2) SFM が用地を確保するが、約 120 万バーツの投資が可能

(3) SFM の条件下で 1 年以上プロフェッショナル・マネジャーとして働き、店舗管理ができると判断された場合で、20 万バーツの投資が可能のいずれかに当てはまる人とした。SFM は 2017 年に 3,000 店達成を目標としており、今年 300 店を開設する。現在の店舗数は 1,090 店。

## 【タイ - 観光】

**タイ・韓観光停滞、政局混乱・船舶事故受け**

タイの長引く政局混乱と4月に韓国であった旅客船「セウォル号」沈没事故などにより、韓国人の訪タイ旅行者数が減少している。一方、日本が競争相手に浮上したことで、今年のタイ人の訪韓旅行者数の増加率も2桁から1桁に鈍化する見通し。タイ旅行代理店協会(ATA)とタイ旅行代理店連合(TTAA)の話として19日付クルンテープ・トゥラキットが伝えた。

今年1月1日～5月10日の韓国人のタイへのツアー旅行客数は、前年同期比49.4%減の3万5,000人。タイの政情悪化に加え、旅客船事故による韓国内の海外旅行自粛ムードが追い打ちをかけた模様だ。タイの混乱を避け、チャーター便による旅行先をタイからカンボジア、ベトナム、日本に変更する会社も多い。ATAとTTAAは、タイの政局混乱が続けば、韓国人の団体旅行は引

き続き減少し、正常化後も回復までに時間がかかるとみている。

観光・スポーツ省の統計によると、昨年タイを訪れた韓国人は、前年比11.5%増の129万7,200人だった。今年1～4月は前年同期比8.0%減の40万1,428人。タイ国政府観光庁(TAT)は今年通年の目標を前年比2.3%増の132万人としている。

## 【インドネシア - 農水】

**星オラム、インドネシアでカカオ加工工場建設へ**

シンガポールの農産物商社オラム・インターナショナルは、インドネシアでカカオ豆の加工工場を建設する。投資額は6,100万米ドル(約62億円)。アジア地域でのチョコレートの需要増に対応するのが狙いだ。

処理能力はまず年間6万トンとする。原料をインドネシア国内のほか、

アフリカから調達し、カカオバター、カカオパウダーなどを生産する。立地や着工時期などは明らかにしていないが、2016年初頭に操業を開始する計画だ。

19日付ジャカルタ・ポストがロイター通信を引用して伝えたところによると、オラムにとってカカオ加工工場は5カ所目。アジアでは初めて

となる。インドネシアを含むアジア地域への供給拠点とする。

インドネシアでは10年からカカオ豆に輸出関税が適用されたこともあり、川下産業への投資が進んでいる。米農業大手カーギルは8月に東ジャワ州グレシクでカカオ加工工場を稼働する。

## 【インドネシア - 金融】

**投信オンライン取引、半年内に規定順守義務**

金融監督庁(OJK)は、投資信託のオンライン取引を規定した。法的根拠を設けて、投信の普及を図るのが狙い。すでにオンライン取引を実施している運用会社と販売会社には、半年以内に規定を順守することを義務付けた。

オンラインによる投信の募集、換金、投資家の口座開設を規定したOJK回状『2014年第7号』を4月24

日付で発布した。オンライン取引を実施する運用会社や販売会社には、OJKの許可を取得することを義務付けた。システムの不調で投資家に損失が出た場合は、天災に起因する場合を除いて運用会社が補償することも規定した。

19日付ビジネス・インドネシアによると、投信会社ダナレクサ・インベストメント・マネジメントのプリ

ハトモ取締役は、投資家へのパスワード発行など取引システムの安全性を確保することが規定されたため、投信会社のIT投資が加速すると指摘。現在は、大都市に住む投資家が顧客の中心だが、オンライン取引が普及すれば地方の投資家の取り込みが進むとの見通しを示した。

## 【フィリピン - 食品】

**比ペプシ、1～3月は価格競争で5割減益に**

飲料大手ペプシ・コーラ・プロダクト・フィリピン(PCPI)はこのほど、今年第1四半期(1～3月)決算で、純利益が前年同期比49.6%減の1億3,600万ペソ(約3億1,500万円)だったと明らかにした。売上高は同7.7%増の54億8,800万ペソで、増収減益となった。

フィリピン証券取引所(PSE)

へ提出した財務報告書によると、炭酸飲料の価格競争や減価償却費などの経費増、台風ヨランダによる影響が減益となった背景という。

売上高のうち、炭酸飲料は10.6%増の40億2,800万ペソで、全体の7割超を占めた。一方、非炭酸飲料は0.6%増の14億6,000万ペソと伸び悩んだ。純利益はそれぞれ3.8%減

の9億4,800万ペソ、12.2%減の3億4,400万ペソとなり、共に前年同期から落ち込んだ。営業支出は10.6%増の11億284万ペソ、原材料や包装材などの販売コストは12.7%増の12億9,173万ペソ。営業支出が売上高に占める割合は、前年同期とほぼ同じの20%となっている。

## 【フィリピン - 商業】

**比セブンイレブンが 2 桁減益、セブでは出店加速**

コンビニエンスストアの「セブンイレブン」をチェーン展開するフィリピン・セブン(PS C)はこのほど、今年第 1 四半期(1~3 月)決算で、純利益が前年同期比 12.2%減の 1 億ペソ(約 2 億 3,200 万円)だったと明らかにした。新規出店に伴う支出増や既存店でのたばこの売り上げ減などが響いたようだ。

売上高は新規出店の効果もあり、

同 6.7%増の 41 億 1,860 万ペソに拡大した。3 月末時点の店舗数は 1,049 店で、昨年 3 月末から 23.8%(202 店)増えた。このうち 68%がフランチャイズ店。出店地域はメーンのマニラ首都圏およびルソン地方の主要都市となっているが、ビサヤ地方への出店も加速しており、3 月末時点でセブ市やパコロド市での店舗数は約 60 店に達した。同社は

フィリピン証券取引所(PSE)へ提出した財務報告の中で、観光地であり、ビジネス・プロセス・アウトソーシング(BPO)産業も急成長しているなどとして、ビサヤ地方の中でも特にセブ市に注目しているコメント。2012 年の初出店から 3 年目となる今年は、店舗数を 100 店以上にする計画という

## 【ベトナム - 食品】

**ニチレイスーコ、越南部のアセロラ加工工場完成**

加工食品事業を展開するニチレイフーズの子会社ニチレイスーコ(東京都中央区)は、南部ティエンザン省に建設したアセロラの集荷・加工工場を今月末から本格稼働させる予定だ。

ティエンザン省ゴーコンドン郡ビンギ村の敷地 1 万 5,000 平方メートルに、工場と社屋を合わせて約 3,500 平方メートルの建屋を建設した。設備投資額は 900 億ドン(426

万米ドル、約 4 億 3,500 万円)。4 月 3 日に完成し、現在は今月最終週の本格稼働に向けて準備を進めている。

工場はニチレイスーコ・ベトナムが運営する。アセロラの集荷、加工、輸出までを手掛け、飲料やデザート、サプリメントの原料となるアセロラ果汁などを日本に出荷する。

ニチレイスーコ・ベトナムは、ニチレイスーコの全額出資により、

2013 年 4 月に設立された。アセロラの需要増加に対応するため、自ら果実集荷を行い、選別・加工・輸出を行う。

ニチレイグループのアセロラの集荷・加工工場としては、ニチレイフーズの子会社ニチレイブラジル農産(1991 年設立)が運営するブラジル・ペルナンブコ州に続く 2 カ国目。

## 【ベトナム - 金融】

**越のカード発行枚数、3 月末時点で 6.9 万枚**

ベトナム銀行カード協会によると、3 月末時点のカード発行枚数は 6,855 万枚で 2013 年末に比べて 3.5%増加した。ベトナム・ニュース(VNS)が報じた。

このうち、デビットカードが 92.14%と大半を占め、クレジットカードは 3.68%、残りはプリペイドカ

ードだった。現金自動預払機(ATM)、販売時点情報管理(POS)端末の設置台数は、それぞれ約 1 万 5,500 台、13 万 7,700 台。

スマートリンク・カード・サービスのグエン・トゥー・アイン CEO は、「ベトナムではカード取引の習慣が急速に普及しつつある」と説明。

一方で、取引の大半は ATM からの現金引き出しであり、カード決済などの利用はごくわずかにとどまる。

ベトナム国家銀行(中央銀行)は、カード決済の普及拡大に向けて、POS 端末を 25 万台に増やすことなどを計画している。

## 【インド - 車両】

**独 VW、インドでの現地化加速に 1 億ユーロ投資**

独フォルクスワーゲンは、約 1 億ユーロ(約 138 億 9,000 万円)を投じ、インドで新モデルの投入や部品の現地調達率を引き上げる。生産体制の現地化を加速することで、一段の需要開拓を目指す。PTI 通信が 19 日に伝えた。

インド法人のマヘシュ・コドゥムディ社長は「投資計画は意志決定に

向けて協議している最中だ」と説明した。一方、計画の実施時期については「2010 年代が終わる前の数年間になる」と述べるにとどめた。同社は西部マハラシュトラ州プネ近郊とアウランガバードに工場を構えている。

インドでは、外観のデザインをインド仕様に変更したコンパクトセダ

ンや小型スポーツタイプ多目的車(SUV)、ハッチバックなどの車種をそろえている。コドゥムディ社長は「既存車種の新モデル投入を近く決定する」と説明。高級セダンと位置付ける「パサート」の新型モデルもできるだけ早い時期に投入する考えを示した。

## 【台湾 - IT】

## 聯発科、半導体売上高増加率で世界トップ

米調査会社のICインサイツが世界の半導体関連企業を対象にまとめた今年第1四半期の売上高ランキングで、携帯端末向けIC設計大手の聯発科技(メディアテック)の売上高が前年同期比48%増の16億800万米ドル(約1,632億円)となり、増加率ではトップ20社のうち最大となったことが分かった。吸収合併した晨星半導体(Mスター)の分が上乗せされて全体を押し上げ、売上高別の順位では12位に上昇した。このほかファウンドリー(半導体の受託製造)大手の聯華電子(UMC)がトップ20社入りを果たすなど、台湾勢の健闘が目立った。

ICインサイツによると、トップ20社の売上高の合計は596億3,000万米ドルで、前年同期比9%増加。増加率は従来予測の7%を上回った。東芝とルネサスエレクトロニクス、スイスのSTマイクロエレクトロニクスは前年同期比でそれぞれ5%、1%、10%減ったが、その他17社はそろって増加した。

米インテルをはじめとする1~5位の順位は前年同期と変わらず。5社の売上高は計337億3,300万米ドルに上り、トップ20社の合計のうち約56%を占めた。台湾勢ではファウンドリー世界最大手の台湾積体回路製造(TSMC)の売上高が前年同期比9%増の48億5,200万米ドルで、インテルと韓国サムスン電子に続く3位を維持し、存在感を見せつけた。

聯発科の順位は前年同期の16位から4ランク上昇。増加率は20社で唯一40%を超え、韓国SKハイニックスの36%を大きく引き離してトップとなった。ICインサイツは聯発科について「中国ほかアジア太平洋地区の新興国におけるローエンド~ミドルレンジのスマートフォンの需要の高まりに加え、Mスターの合併が売上高

を大きく押し上げた」とした。17日付経済日報によると、業界関係者の間では聯発科の売上高が今年下半期にも、第4世代移動通信システム(4G)のLTE(ロング・ターム・エボリューション)規格に対応した製品の好調を背景に米ブロードコムに迫り、トップ10社入りするとの見方もある。

UMCの売上高は前年同期の8億9,900万米ドルから12%増の10億600万米ドル。10億米ドルの大台を超え、売上高で順位を1ランク上げて20位につけた。企業別の増加率ではサムスン電子やTSMCを上回る10位。17日付工商時報によると、UMCはこのところ先端の28ナノメートル製造プロセスによる生産で米グローバルファウンドリーズ(GF)から受注を奪ったと伝えられている。

2014年Q1の半導体関連企業の売上高上位15社

順位	13年Q1 順位	企業	本社所在地	売上高 (100万米ドル)	前年同期比 (%)
1	1	インテル	米国	11,666	1
2	2	サムスン電子	韓国	8,797	11
3	3	TSMC	台湾	4,852	9
4	4	クアルコム	米国	4,243	8
5	5	マイクロン+エルピーダ	米国	4,175	27
6	8	SKハイニックス	韓国	3,507	36
7	6	東芝	日本	2,793	▲5
8	7	テキサス・インスツルメンツ	米国	2,792	3
9	10	ブロードコム	米国	1,984	1
10	11	ルネサスエレクトロニクス	日本	1,865	▲1
11	9	STマイクロエレクトロニクス	スイス	1,801	▲10
12	16	聯発科+Mスター	台湾	1,608	48
13	12	インフィニオン	ドイツ	1,440	19
14	14	AMD	米国	1,397	28
15	13	アバゴ+LSI	シンガポール	1,305	15

▲はマイナス

出典：ICインサイツ

## 予 定

### 20日

#### 金融政策決定会合ほか

##### 【国内】

<経済>

- ・金融政策決定会合(14時、~21日、日銀)
- ・日本製紙連合会定例記者会見(13時30分、東京都中央区・日本製紙連合会)
- ・MS&ADホールディングス、14年3月期決算会見(14時、日銀)
- ・東京海上ホールディングス、14年3月期決算会見(14時40分、日銀)

- ・NK SJホールディングス、14年3月期決算会見(15時20分、日銀)

##### 【海外】(現地日程)

- ・ロシアのプーチン大統領が中国・上海を訪問(~21日)

情報提供：共同通信

## 人事

## 大同信号社長に今井徹氏ほか

新社長

大同信号

今井 徹氏(いまい・とおる)早大院修了。1978 年旧国鉄。保安工業取締役、日本リーテック常務などを経て 2012 年 6 月から大同信号専務。62 歳。神奈川県出身。北原文夫社長は会長。6 月 27 日就任。

中央ビルト工業

安孫子 雷太氏(あびこ・らいた)岐阜工業高専卒。1973 年中央ビルト工業。取締役などを経て 2013 年 6 月から常務。62 歳。岐阜県出身。西本安秀社長は代表権のある会長。6 月 20 日就任。

会社人事

だいこう証券ビジネス(6 月 20 日)副会長 野村総合研究所取締役石橋慶一 専務(常務)風神浩三、御園生悦夫 取締役 日本クリアリングサービス取締役渋谷伸、山崎仁志 退任 取締役小林博之、船倉浩史

名古屋鉄道(6 月 26 日)専務(常務)内田互、高木英樹 常務(取締役)拝郷寿夫 取締役 用地管理部長小野猛、人事部長葛西信三 監査役(副社長)松林孝美 退任 監査役河原英穂

新京成電鉄(6 月 26 日)専務(常務)斉藤規男 常務(取締役)小川勉、村瀬孝司 取締役 内部監査室長柳田信夫、鉄道事業本部鉄道営業部長田口和己、新葉地所社長一村和男 監査役(取締役)金子光 相談役(会長)片岡遼一 退任 専務飯田秀樹、監査役斉藤悦治

芙蓉総合リース(6 月 25 日)常務 常務執行役員細井聡一、皆川潔 監査役(顧問)吉積和織 退任 常務米田俊三、監査役鶴野隆一

八十二銀行(6 月 20 日) 常務 執行役員浜村九二雄 監査役(常務執行役員)宮下浩 退任 取締役中村博、監査役滝沢亮

ハリマ共和物産(6 月 27 日)取締役(監査役)前

原啓二 監査役 加藤産業監査役弥谷恵太郎

ソフトバンク(6 月 20 日)取締役 常務執行役員後藤芳光、藤原和彦、日本電産社長永守重信

雪国まいたけ(6 月 27 日)取締役 営業本部顧問小林秀人、(監査役)川村博、弁護士村上義弘 監査役(内部監査室長)小林嗣明、弁護士麻生光洋、(仮監査役)竹中徹 退任 取締役荒木和男、東貢、監査役田口喜一

ワタベウェディング(6 月 27 日)取締役 執行役員鈴木克明、天満屋顧問岡康久 退任 取締役池田弘一

東海東京フィナンシャル・ホールディングス(6 月 27 日)取締役 専務執行役員飯泉浩

丸文(6 月 27 日)取締役(監査役)渡辺泰彦 かどや製油(6 月 24 日)取締役 執行役員井尻尚宏、小沢物産社長小沢一彦、(監査役)川上三知男 退任 取締役井藤龍平、逸見信彦

NDS(6 月 24 日)取締役(監査役)本多立太郎 監査役(取締役)吉川努

曙ブレーキ工業(6 月 18 日)取締役 東京工業大学大学院教授岡崎健 退任 取締役西垣順充

アイコム(6 月 25 日) 取締役 総務部長小路山憲一、(前目黒電波測器社長)吉沢晴幸 退任 取締役糸山太一朗

岩崎通信機(6 月 27 日) 取締役 中島秀之 監査役 岩通ソフトシステム社長杉崎隆志 退任 監査役大工原博

TYK(6 月 27 日) 取締役 大同特殊鋼社長嶋尾正、執行役員野村茂紀 監査役 JFE スチールスチール研究所主席研究員武田幹治、大同特殊鋼常務新貝元、スチールプラントック取締役相談役藤原義之 退任 取締役小沢正俊、監査役瀬戸徹、中坪修一

情報提供：共同通信

## 訃報

## 飯盛正大氏(元第一勧業銀行専務)

飯盛 正大氏(いいもり・まさひろ)元第一勧業銀行 現みずほ銀行 専務)16 日午後 8 時 28 分、腎不全のため神奈川県鎌倉市の病院で死去、82 歳。東京都出身。葬儀・告別式は 23 日午前 10 時半から鎌倉市大

船 2 の 17 の 15、鎌倉ファミリーホールで。喪主は長男徹夫(てつお)氏。

情報提供：共同通信

# アジアで会う *Talking in Asia*



## ジョージ・チェンさん シンガポールコンテック社長

### 第7回 敵対の裏にある相乗効果に期待 (シンガポール)

じょーじ・ちえん 1963年、台湾・桃園生まれ、台北育ちの祖父は日本統治時代に台湾鉱業界の実業家として活躍、母は台湾のボウリング代表選手。85年に家族とともに日本に移住。2007年に留学先のオーストラリアで国籍を取得した。ニュージーランド人のパートナーと愛犬を東京に残し、2013年4月からシンガポールに単身赴任。趣味は水泳やゴルフ。ゴルフは隣国マレーシアに良く足を運ぶ。昔から美術品の収集も続けており、画廊巡りを楽しんでいる。



「世の中には白黒ははっきりと区別できないものがあります。国内では競合している企業でも、海外では有望な提携先になる可能性もある。搬送機器大手ダイフク傘下にある産業用電子機器メーカー、コンテックのシンガポール現地法人で社長を務めるジョージ・チェンさんは流ちょうな日本語でそう話す。

22歳で家族とともに台湾から東京に移り住んだ。以前からITに興味を持っていたこともあり、総合専門学校、日本工学院の情報処理科に進学。パソコンやプログラミングに関する技能を習得した後、東京のソフトウェア会社に情報処理プログラマーとして就職した。ただITの知識だけでは満足せず、働きながら産業能率大学の通信教育で経営管理も学ぶ。ただでさえ慣れない日本語を使いながら、仕事と学業の二足わらじをはく生活は週末もないほど忙しく苦勞も多かったが、持ち前の向上心がチェンさんを駆り立てた。その後同業他社でシステムエンジニアとして腕を磨き、1995年から4年間は中国駐在を経験。いったん日本に帰国後、2007年にはさらに専門知識を身につけたいとオーストラリア留学を果たす。

#### 自分の存在価値に疑問

大学院で情報管理、電子商取引(EC)の2つの修士号を取得し、友人らと現地でIT企業を立ち上げた。設立直後はIT技術者としてのスキルを生かせると意気込んでいたが、「次第に自分の存在価値が薄くなっていくような気がしました。台湾語、中国語、日本語、英語が話せるが、英語以外の言語を使う機会はまれだった。アジアとのつながりが深い自分の強みが活かされていないと感じるようにな

り、4年滞在したオーストラリアを離れて日本に戻ることを決めた。

#### 見本市で出会う

工業コンピューター製造大手の台湾系企業で日本市場事業開発マネジャーを務めていた2012年に一つの出会いがあった。見本市の会場で偶然、コンテックの役員に会った。名刺交換しようとする役員は「競合社には名刺を渡さない方がいいな」と一言。すかさずチェンさんは「競合社でも協業や情報交換など双方に利益をもたらす関係が築けるのではないですか」と答えた。この言葉に感じ入った役員の勤めもあり、コンテックに12年に転職。入社後すぐにコンテックがシンガポールで開設を予定していた現法設立の準備を言い渡される。

コンテック海外本部の担当部長として、各種設立手続きや人材採用などに奔走。昨年6月にシンガポール・コンテックの営業を開始した。今年1月には現法社長に就任。産業パソコン関連製品や計測器、ネットワーク機器の総合メーカーとして、コンテックは従来、工場の自動化システムを中心に販売してきたが、「今後は医療や交通、環境・エネルギー関連、電子看板など最新IT技術を駆使したシステムの受注拡大に力を入れたい」と意気込む。医療ではRFID(無線集積回路)タグを利用して患者の行動を追跡できるシステム、交通では車のエンジン回転やタイヤの空気圧などを確認できる車載端末など、域内で比較的ニッチ(すき間)な市場に参入する意向だ。「新現法で東南アジアの顧客のニーズを吸収し、本社にフィードバックすることで新商品の開発につなげたい」。

#### 早々に黒字目指す

日本と欧米の企業文化を知る身として、日本企業全般の課題と感じるのは、往々にして意思決定には時間がかかること。「恐竜のように頭で考えてから足を動かすまでに時間がかかるようでは、日々変化する現地の市場環境についていけない。鳥のようにすぐ動いてえさを取らないと」。日本ではサービス・商品の完成度を徹底的に高めてから市場投入するのが主流だが、欧米は少し不具合があってもまずは市場に出してしまう。両方に良さはあるが、より早く需要に対応できる体制を整えたいと考えている。現法の業績については、昨年は立ち上げ直後で赤字を計上したが、今年は早々に黒字転換を目指す。「設立直後に黒字化を果たすのは難しいですが、現地のパートナー企業などと提携を進めて受注先を広げたい」。

IT業界は約15年周期で変化を遂げるといわれる。ITがより身近な存在になる中で、暮らしに役立つコンテックの技術を世界に広げたいという思いが強い。「1+1は必ずしも2ではなく、それ以上の結果が出る時があります」。競合他社、現地企業に限らず、敵対の裏にあるプラスの相乗効果を見極めたいという。将来は日本の海外本部で国際戦略の策定に携わりたいというチェンさん。変化の激しい業界で、その視線は遠くを見つめている。(シンガポール編集部・清水美雪)



# アジア向け通販が 日本を富ませる

ネットと物流が支える未来



## アジアで国際輸送網、ヤマトが支える越境 E C

### 第 17 回

ヤマトグループは今年 4 月、日本を介さない三国間で初めてとなる翌日配送サービスをシンガポール・マレーシア間で始めた。「クロスボーダー配送サービス」と呼ぶもので、最短で翌日にも荷を届ける。両国間はこれまで、国際宅急便による輸送だったが、翌日配送ではなかった。新たなサービスでは、まとまった輸送量を見込む企業とヤマトが契約し、荷をより素早く運ぶ。

同社によると、両国間の小口輸送や宅配は、集荷から通関、配達までを一貫して手掛ける業者が少ない。複数の業者を介したサービスでは、輸送にかかる時間が読みにくい上、輸送品質への不満も生じていたという。ヤマトはすでに両国内で宅急便事業を運営しており、両国を往来する定時トラック便を毎日(日曜・祝祭日を除く)運行することで、ドアツードアの一貫配送を実現させた。

新たなサービスを始めるきっかけとなった需要には、いくつかの側面がある。主な一つは、インターネット通販だ。

### 国境またぐ E C 当たり前

マレーシアに拠点を持つ通販業者やメーカーが、購買力の高いシンガポールの消費者への新たな販路を拡大したいとの需要があったという。マレーシアには楽天が 2012 年に進出を果たしているほか、住友商事が 13 年にグループ全額出資で電子商取引(E C)を展開する子会社を設立し、ネット通販事業に乗り出している。ヤマトはすでに複数の E C 事業者とクロスボーダー配送サービスの契約を協議、または締結している。

一方、シンガポールでもネット競売大手の米イーベイが出資する E C 大手キューテン(Qoo 10)が高い存在感を持つ。楽天も 13 年末から事業展開を始めている。楽天は、シンガポールのサイトで日本品の販売を強化。同時に、進出済みのタイやマレーシアのサイトでもこれらを露出させることで、購入者に国境を感じさせないまま、物が国境をまたいで動くネット通販を拡大しようとしている。

すでに現在、楽天シンガポールで婦人服を購入すると、それが台湾のアパレルの商品であり、郵便物として 1 週間程度で配達されてくることがある。アパレルは低価格の婦人カジュアル「東京著衣」。04 年に誕生し、1 着 300 円ほどからの安さで人気を集めた。中国や東南アジアでも販売し、台湾の衣料品ネット通販最大手に育った。13 年には三井物産から出資を受けている。アジアの有力な新興企業がネット通販を通じて成長する象徴的な事例と言える。アジアではすでに「越境 E C」が当たり前になっている。

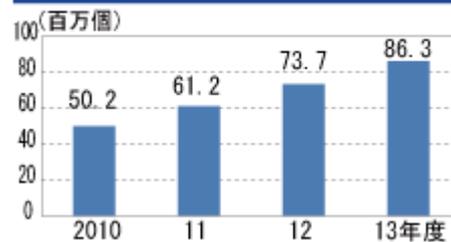
英調査機関ユーロモニター・インターナショナルは、シンガポール、マレーシア両国の 13 年のネット通販市場規模

はおおまかに計 12 億米ドル(約 1,217 億円)と推計。18 年には 65% 拡大し 19 億米ドルを超えると予測している。

人の往来が多く、文化的つながりも深い両国の市場。E C 業者が相互に乗り入れて需要をつかもうとする上で、ヤマトの新しい動きが活動を支えることになる。

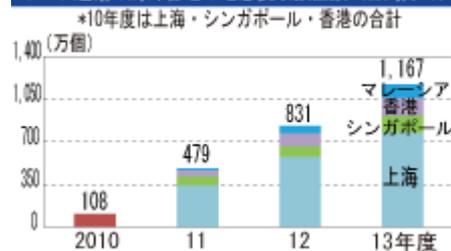
### 輸入規制の壁さまざま

ヤマト運輸の台湾合併会社の宅急便取扱個数



ヤマトは、台湾、上海、シンガポール、香港、マレーシアで宅急便サービスを展開している。だが、日本から送る国際宅急便で「一般的な常温の商品」「食品」「クール」の 3 種類に分けると、すべてに対応できているのは今のところ香港向けのみにとどまっている。生鮮品を含む食品は各国・地域ごとに規制がさまざまである

ヤマト運輸の海外各地の宅急便取扱個数(台湾除く)



るからだ。

ANACarogo は 5 月 14 日、沖縄ハブ発のシンガポール行き貨物便の運航を始めた。ヤマトが香港向けの国際宅急便で「日本発、沖縄経由、香港着」の翌日配達モデルを確立したように、これによって日本からシンガポールへの翌日配達も理論上可能になる。

しかし、ヤマトのシンガポール向けの国際宅急便が現在の常温品のみから食品、クールに広がらなければ、ネット通販においてその機能を存分に生かせるとは言えない。

ヤマトは、日本で築き上げたビジネスモデルのアジアへの移植を進めている。アジアではまた、各国・地域を網の目のようにつなぐ国際輸送網の構築にも取り組んでいる。だが、日本発の商品をアジアへ売り込む上で、この規制の壁を越えなければならない。ヤマトは「国際クール宅急便をシンガポール、台湾でも 14 年度内には始めたい」と強い意欲を示す。日本からアジアに向けたネット通販の拡大は、物流業者による輸送インフラ整備にかかっている面がある。

Bloombergより作成の参考値

海外主要市場の商品市況

取引所・時間	銘柄	直近値	前日比	取引所・時間	銘柄	単位	直近値	前日比
LME (19日11時40分)	銅先物	6928.75	68.75	NYMEX (19日6時40分)	WTI原油先物	バレル	102.66	0.64
	銅現物	6923.50	-17.50		天然ガス先物	MMBTU	4.45	0.04
	アルミニウム先物	1767.75	-1.75		ガソリン先物	ガロン	299.40	2.05
	アルミニウム現物	1728.25	-4.75		灯油先物	ガロン	296.73	1.37
	すず先物	23450.00	295.00	COMEX (19日6時40分)	金先物	トロイオンス	1299.90	6.50
	すず現物	23275.00	-175.00		銀先物	トロイオンス	19.55	0.22
	鉛先物	2148.50	15.50	SICOM(19日18時40分)	ゴムRSS3先物	キログラム	213.00	4.70
	鉛現物	2111.50	3.00		小麦先物	ブッシェル	668.50	-5.75
	ニッケル先物	19752.00	727.00	シカゴ (19日5時40分)	大豆先物	ブッシェル	1464.75	-0.25
	ニッケル現物	19155.00	0.00		トウモロコシ先物	ブッシェル	478.25	-5.25
	亜鉛先物	2084.75	19.75	ICE(19日6時40分)	砂糖先物	ポンド	17.94	0.03
	亜鉛現物	2059.75	5.50	日本(19日19時40分)	ナフサ先物	トン	943.50	8.25
上海 (19日18時40分)	亜鉛先物	15210.00	20.00	ドバイ(19日14時40分)	ドバイ原油	バレル	106.59	0.92
	金先物	260.45	-0.40	ロンドン(19日11時40分)	北海ブレント	バレル	111.43	1.16
	鉛先物	13975.00	30.00	SICOM = シンガポール商品取引所				
	銅先物	48620.00	240.00	ICE = インターコンチネンタル取引所				
	鋼線先物	3186.00	0.00	括弧内のデータ取得時間はいずれも現地時間				
	アルミニウム先物	13110.00	75.00	限月はLME先物が3カ月、そのほかは中心限月				

LME = ロンドン金属取引所

NYMEX = ニューヨーク・マーカントイル取引所

COMEX = ニューヨーク商品取引所

SICOM = シンガポール商品取引所

ICE = インターコンチネンタル取引所

括弧内のデータ取得時間はいずれも現地時間

限月はLME先物が3カ月、そのほかは中心限月

LME、上海の単位：上海・金(グラム)を除き全てトン

値：SICOM、シカゴは米セント。上海は中国元。それ以外は米ドル

為替クロスレート 2014/5/19 19:30 JST

通貨コード	JPY	USD	EUR	GBP	CNY	HKD	TWD	KRW	THB	VND	MMK	MYR	SGD	IDR	PHP	INR	AUD	NZD
日本円		0.0099	0.0072	0.0059	0.0616	0.0766	0.2980	10.0986	0.3207	208.804	9.48434	0.0318	0.0123	112.816	0.4313	0.5786	0.0106	0.0114
米ドル	101.2110		0.7303	0.5947	6.2371	7.7520	30.1580	1022.14	32.4605	21132.5	962.017	3.2165	1.2497	11417.5	43.6450	58.5663	1.0689	1.1572
ユーロ	138.937	1.3693		0.8146	8.5406	10.6149	41.2959	1399.64	44.4488	28937.1	1317.31	4.4044	1.7112	15634.2	59.7639	80.1959	1.4636	1.5845
英国ポンド	170.684	1.6816	1.2277		10.4881	13.0354	50.7125	1718.79	54.5843	35535.6	1617.69	5.4087	2.1014	19199.2	73.3917	98.4827	1.7973	1.9459
中国人民幣元	16.2272	0.1603	0.1171	0.0953		1.2429	4.8353	163.881	5.2044	3388.19	154.241	0.5157	0.2004	1830.58	6.9976	9.3900	0.1714	0.1855
香港ドル	13.0559	0.1290	0.0942	0.0767	0.8046		3.8904	131.856	4.1874	2726.08	124.100	0.4149	0.1612	1472.85	5.6302	7.5550	0.1379	0.1493
台湾ドル	3.3558	0.0332	0.0242	0.0197	0.2068	0.2570		33.8928	1.0763	700.726	31.8992	0.1067	0.0414	378.589	1.4472	1.9420	0.0354	0.0384
韓国ウォン	0.0990	0.0010	0.0007	0.0006	0.0061	0.0076	0.0295		0.0318	20.6748	0.94118	0.0031	0.0012	11.1702	0.0427	0.0573	0.0010	0.0011
タイバーツ	3.1178	0.0308	0.0225	0.0183	0.1921	0.2388	0.9291	31.4887		651.022	29.6365	0.0991	0.0385	351.735	1.3446	1.8042	0.0329	0.0356
ベトナムドン	0.0048	0.00005	0.00003	0.00003	0.00030	0.00037	0.0014	0.048	0.0015		0.04552	0.0002	0.0001	0.5403	0.0021	0.0028	0.00005	0.0001
ミャンマーチャット	0.1054	0.00104	0.00076	0.00062	0.00648	0.00806	0.03135	1.06250	0.03374	21.9669		0.0033	0.0013	11.8683	0.04537	0.06088	0.00111	0.00120
マレーシアリンギ	31.4656	0.3109	0.2270	0.1849	1.9391	2.4101	9.3760	317.780	10.0919	6570.03	299.088		0.3885	3549.67	13.5691	18.2081	0.3323	0.3598
シンガポールドル	80.9882	0.8002	0.5844	0.4759	4.9911	6.2033	24.1332	817.941	25.9757	16910.7	769.83	2.5739		9136.56	34.9258	46.8662	0.8553	0.9260
インドネシアルピア	0.0089	0.00009	0.00006	0.00005	0.00055	0.00068	0.0026	0.0895	0.0028	1.8509	0.08426	0.0003	0.0001		0.0038	0.0051	0.0001	0.0001
フィリピンペソ	2.3188	0.0229	0.0167	0.0136	0.1429	0.1776	0.6910	23.4194	0.7437	484.191	22.0419	0.0737	0.0286	261.599		1.3419	0.0245	0.0265
インドルピー	1.7284	0.0171	0.0125	0.0102	0.1065	0.1324	0.5149	17.453	0.5543	360.830	16.4261	0.0549	0.0213	194.95	0.7452		0.0183	0.0198
オーストラリアドル	94.6790	0.9356	0.6832	0.5564	5.8353	7.2526	28.2154	956.30	30.3696	19771.2	900.049	3.0093	1.1692	10682.04	40.8336	54.7938		1.0826
ニュージーランドドル	87.4579	0.8642	0.6311	0.5139	5.3900	6.6991	26.0619	883.310	28.0516	18262.2	831.353	2.7796	1.0799	9866.74	37.7170	50.6117	0.9237	

NNAは、メディア事業を通じて、グローバルビジネスにかかわるすべての人と企業に貢献します。

■NNAグループ

<http://news.nna.jp/free/nna/group.html>

- 【東京】株式会社エヌ・エヌ・イー 本社
- 【北九州】株式会社エヌ・エヌ・イー 北九州事務所
- 【上海】上海時迅商務諮詢有限公司
- 【北京】上海時迅商務諮詢有限公司 北京分公司
- 【広州】上海時迅商務諮詢有限公司 広州分公司
- 【大連】上海時迅商務諮詢有限公司 大連連絡処
- 【香港】NNA HONG KONG CO., LTD.
- 【台湾】香港商亞洲情報網有限公司台湾分公司
- 【フィリピン】NNA PHILIPPINES CO., INC.
- 【タイ】NNA (THAILAND) CO., LTD.

- 【ベトナム】NNA VIETNAM CO., LTD.
- 【マレーシア】NNA (MALAYSIA) SDN. BHD.
- 【シンガポール】NNA SINGAPORE PTE. LTD.
- 【インド】NNA SINGAPORE PTE. LTD.(INDIA LIAISON OFFICE)
- 【インドネシア】PT. NNA INDONESIA

■提携会社

- 【韓国】NNA KOREA CORP., LTD.
- 【オーストラリア】NNA AUSTRALIA PTY. LTD.
- 【英国】Economic Media Bulletin Limited (EMB)

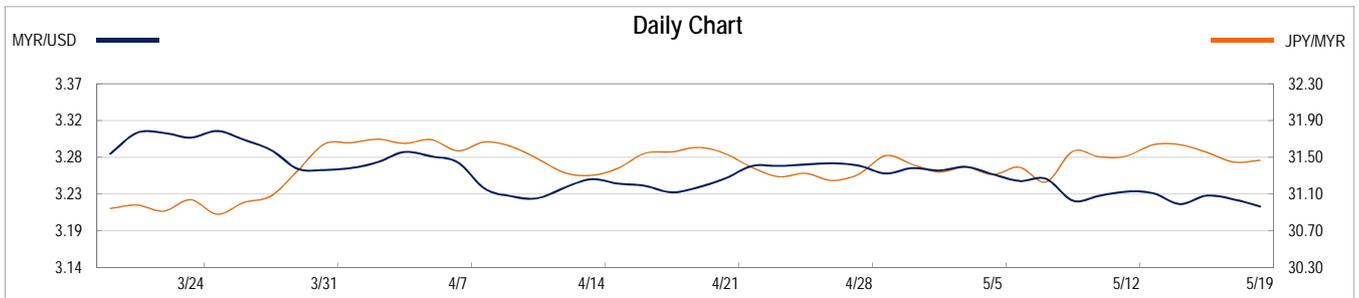


Bloombergより作成の参考値

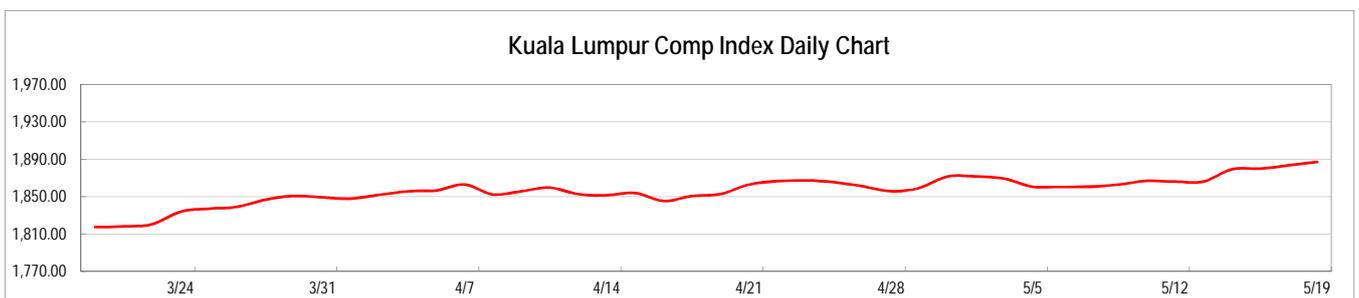
# マーケット情報 為替と株式

為替											
地域	現地通貨	更新	JPY/現地	現地/USD	現地/EUR	地域	通貨	更新	JPY/現地	現地/USD	現地/EUR
オセアニア	ニュージーランドドル	19日	87.4579	1.1572	1.5876	アジア	ベトナムドン	19日	0.004789	21,132.50	28,991.67
	オーストラリアドル	19日	94.6790	1.0689	1.4664		欧州	ユーロ	16日	138.9370	0.7303
アジア	日本円	19日	1.0000	101.211	138.841	英国ポンド		16日	170.6840	0.5947	0.8146
	韓国ウォン	19日	0.09902	1,022.140	1,402.210	スイスフラン		16日	113.7240	0.8914	1.2224
	中国人民幣元	19日	16.2272	6.2371	8.5567	デンマーククローネ		16日	18.6192	5.4478	7.46470
	香港ドル	19日	13.0559	7.7520	10.6349	ロシアルーブル		16日	2.9252	34.7533	47.5171
	台湾ドル	19日	3.3558	30.1580	41.3737	ハンガリーフォリント		16日	0.4555	222.6800	305.5940
	フィリピンペソ	19日	2.3188	43.6450	59.8766	ポーランドズロチ		16日	33.1543	3.0575	4.1951
	シンガポールドル	19日	80.9882	1.2497	1.7145	チェココルナ		16日	5.0645	20.0317	27.4515
	マレーシアリンギ	19日	31.4656	3.2165	4.4045	スウェーデンクローナ		16日	15.4591	6.5634	8.9908
	タイバーツ	19日	3.1178	32.4605	44.535	北米		米ドル	16日	101.4560	1.0000
	インドネシアルピア	19日	0.008864	11,417.50	15,663.66		カナダドル	16日	93.4670	1.0873	1.4889
インドルピー	19日	1.7284	58.5663	80.3396	中南米	メキシコペソ	16日	7.8679	12.9142	17.6684	

オセアニア・アジア：19:30 JST、欧州・北米・中南米：06:00 JST 時点



株式													
地域	マーケット	指数	更新	終値	前営業日比	年初比	地域	マーケット	指数	更新	終値	前営業日比	年初比
オセアニア	ウェリントン	NZSX50	19日	5,167.78	-18.41	398.74	アジア	ジャカルタ	JSX	19日	5,015.00	-16.57	687.73
	シドニー	ASX	19日	5,390.30	-68.60	20.50		マニラ	Composite PSE	19日	6,870.90	53.19	886.64
アジア	東京	日経平均	19日	14,006.44	-90.15	-1,902.44	欧州	ホーチミン	ベトナム株価指数	19日	533.04	3.55	28.53
		TOPIX	19日	1,150.07	-9.00	-142.08		ムンバイ	SENSEX30	19日	24,363.05	241.31	3,222.57
		JASDAQ	19日	89.76	-2.39	-13.95		ロンドン	FTSE 100	16日	6,855.81	14.92	137.90
	ソウル	総合	19日	2,015.14	1.70	47.95		フランクフルト	DAX	16日	9,629.10	-26.95	229.06
		KOSDAQ	19日	546.81	-10.78	50.53		パリ	CAC40	16日	4,456.28	11.35	229.00
	上海	B株	19日	224.21	-2.47	-29.28		アムステルダム	AEX	16日	399.56	-0.69	-0.26
	深セン	B株	19日	811.90	-4.25	-54.45		ミラノ	FTSEMIB	16日	20,648.59	228.97	1,718.96
	香港	ハンセン	19日	22,704.50	-8.41	-635.55		マドリード	IBEX35	16日	10,478.70	113.70	718.40
		ハンセンH	19日	9,915.29	-40.06	-794.05		ブリュッセル	BEL20	16日	3,098.15	-13.85	217.70
	台北	加権	19日	8,899.90	11.45	287.36		チューリヒ	SMI	16日	8,683.62	38.88	413.16
シンガポール	ST指数	19日	3,262.43	-0.16	87.78	北米	ニューヨーク	ダウ	16日	16,491.31	44.50	49.96	
クアラルンプール	KLSE総合	19日	1,887.07	3.73	34.12		NASDAQ	16日	4,090.59	21.30	-52.48		
バンコク	SET	19日	1,410.63	5.37	179.86	トロント	トロント300	16日	14,514.74	-74.15	920.55		



## シンガポール

日本語を学んでいるというシンガポール人と知り合った。講座に通い始めて2カ月だというのが、それにしても上手い。語彙(ごい)も多彩だ。よく聞くと、日本のアニメとドラマが大好きだという。「日本語の音はよく知っていました。あとは意味を覚えてだけ」なるほど。

話せば話すほど、日本へ強い親しみを持ってあげていることが分かる。日本へ行きたい、できれば生活したい、とも。しかし先日、韓国旅行に出かけてしまった。

アベノミクス以降、円安が進み訪日旅行も手頃になっているが、それでも価格と魅力の均衡点で、隣国に負けてしまったようだ。「家族の意見もあったんです……」と申し訳なさそうにいうが、実はKポップも好きだという。君は何も悪くない。ただ、日本の良さをもっと伝えねばならないと、「健康な愛国心」がムクムクと湧き上がっている。(北)

## インドネシア

南スラウェシ州マカッサルを訪れた。日本の感覚でみれば、人口100万以上の都市にしてはこじんまりとしていたが、ここ数年はホテルやアパート、商業施設の建設が増えているという。ジャカルタほどではないが、交通渋滞も発生していた。

地元大学の先生によると、東部12州の富裕層が地域の中心都市であるマカッサルで不動産を購入する動きが加速しており、地価は急上昇。庶民が都心の家を買うのは難しくなっている。地元民にとっての富の象徴は土地だったが、最近は自動車などの目に見えるモノに変化。新しい小売店が次々とでき、消費者の購買意欲を高めているという。

これまで住んだことのあるバリ島やジャカルタと状況は同じだ。20年ほど前に初めてインドネシアに来た際に、家が安いことに驚いた記憶がある。いまは都市部ではとても買えそうにない。(谷)

## フィリピン

イースタンサマール州ラワン町の balan-gai(最小行政単位)ポルサオは小さな漁村だ。主要産業は漁業とココナツ栽培。約1,000人が暮らす。昨年11月に台風ヨランダで被害を受けた同村は、バンカーボートやココナツの木が破壊され、今年3月まで電気が復旧しなかった。

その小さな漁村で今月、ヨランダ以来初めてのフィエスタ(祭り)があった。筆者も参加させてもらった。メーンは午後8時から午前4時まで続くダンス大会。ココナツを原料とした地酒「トゥバ」をあおった後に、バンド演奏に合わせて踊る。老若男女が入り乱れ、会場の熱はいつまでも冷めることはなかった。

ポルサオにはヨランダの影響が現在も色濃く残る。教会の屋根は崩れたままで、職を失った人も多い。ただ、踊り続ける彼らの顔は、頭上に瞬く星空のごとく輝いていた。フィエスタは彼らにとって生活の一部なのだ。(と)



海を越え、都市をつないで、

NNAからアジアの今を



## 中国

駐在員であれば、帰任や異動はいつか訪れるもの。一年の中でも春は人事異動の多い季節だと感じる。

日本に帰任される方をお見送りする時には「日本でお会いしましょう」とお声を掛けていただくことが多い。「では、一時帰国した際にでも」と再会の日に思いを馳せることができるのだが、別の国に異動される方の場合、異動後に直接お会いすることのハードルはかなり高くなる。

「これから先、お会いする機会に恵まれるかどうか」と思う時に、よく思い出す漢詩がある。唐代の詩人・王維が書いた詩の「君に進む更に尽くせ一杯の酒 西のかた陽関を出づれば故人なからん(別れに勧めんこの酒を 関を過ぎれば友もなし)」という一節だ。かつて日本でも別れの宴席でよく歌われたという。送別の際の名残尽きぬ思いは古(いにしえ)も今も変わらないものようだ。(川)

## 香港

毎朝顔を会わず近所のおばさんに、「今日は目がひどく腫れているね」と言われた。体調不良でも寝不足でもなかったのだが、腫れぼったい目と思うだけでその日は憂鬱(ゆううつ)だった。人と話すたびに目が腫れていると思われるかと思うと、早く帰宅したかった。香港人は直感で言葉を発する人が多い。

以前も道を尋ねる目的で、近くにあった薬局に入るやいなや、「ダイエット食品？」と聞かれた。店を出てから、ガラスに映る自分の姿を見ながら、急遽ダイエットが必要なのかと落ち込んだ。せっかく買った新しい服も、「着太りする」と言われてから、着る気が失せて洋服ダンスの肥やしと化している。

オブラートに包んで話す文化がない香港で、「相手は冗談だったのだろう」と自分を慰めることも難しい。特に心が弱っているときは、この歯に衣着せぬ言葉が要注意なのだ。(阿)

## 韓国

週末に友人の兄が住む忠清北道堤川(チェジョン)市を訪れた。遅い時間の到着にもかかわらず、兄の2人の子もたちも出迎えてくれた。

5才と3才になるこの子たちとは、旧正月以来の再会だったが、以前よりも大きくなっていった。なかでも驚いたのは、3才になる子の言語能力の発達の速さ。以前は全く話せなかったのだが、発音はまばらながら、なんとか自分の言いたいことを言えるようになっていた。その子たちの母親の勧めで、彼らに日本語の挨拶を教えてみた。絶対無理だろうと思っていたのだが、1日で基本のフレーズをマスターしてしまった。

帰り際に子どもたちに韓国語で別れの挨拶をしたが、彼らから返ってきた言葉は、日本語の「ありがとう。またきてね」だった。

彼らが日本語を使ってくれることは嬉しいが、記憶力の鋭さにはなんだか嫉妬してしまった……。(紗)

The Daily NNA

トライアル受付中!

電機・電子・ITニュース